

International Economics: Take-home Midterm レポート

Instructions: Answer ALL questions below to the best of your ability. Do NOT simply copy my notes or sentences from the text. Express the ideas in your OWN words. You must hand in this exam on December 16th, 2025. If you have any questions, please contact me by phone (X3539) or e-mail (parsons-craig-gj@ynu.ac.jp).

説明：以下の全ての問題にあなたの能力のベストをもって答えなさい。配布されたノートやテキストの文章をそのまま書き写すことは認めない。あなたの言葉でアイディアを表現しなさい。12/16までにこのテストを提出すること。

質問があれば、電話(X3539)もしくはe-mail(parsons-craig-gj@ynu.ac.jp)で連絡をとること。

Please submit your answers in CLASS (not email). Typed or hand-written or some combination is acceptable. 答案はメールではなく、クラス内で提出すること。タイプ、手書きもしくは両方でもOK。

1) Effects of a Tariff (関税の便益と費用)

Draw an Import Tariff Graph assuming the world price is lower than the domestic price. Also assume the country is **SMALL**.)

グラフを描きなさい。世界価格は国内価格より低いと仮定しなさい。また、小国であると仮定しなさい。

In your graph, describe the amount of imports before and after the tariff.

関税をかける前とかけた後の輸入量を説明しなさい。

Describe in detail the gains and/or losses to **producers**, **consumers**, and **government revenue** and **deadweight loss** by using the appropriate polygonal areas in your graph.

下のグラフの適切な多角形のエリアを用いて、生産者、消費者に対するゲインないしはロスと、政府収入、死荷重(deadweight loss)を詳細に示しなさい。

- 2) 自由貿易から得られる利益が損失を上回るのであれば、なぜ保護主義がいまだに世界中に存在するのか？IMK (Unit 13)の「バター」の関税に見られる論理を使って、あなたの答えを裏付けなさい。(ヒント：消費者と生産者の一人当たりのコストと利益)
- 3) GATT の起源について簡単に説明しなさい。いつ設立されたのか？その目的は何か？GATT が WTO になったのはいつか？WTO は GATT とどのように似ていて、また違うのかを説明しなさい。私のノートや本をコピーしてはいけない。あなた自身の言葉で説明しなさい。(長さ：約半ページ)
- 4) 現代の三大貿易崩壊、すなわち 1930 年代の貿易戦争、2008-9 年の貿易大崩壊、米中貿易戦争について、形式の整ったエッセイ（序論、本論、結論/概要）を書きなさい。簡単な歴史と、それぞれの比較データを入れること。

5) クルーグマン・オブストフェルドのテキストの日米の例をモデルとして、あなた自身の「囚人のジレンマ」の数値例（およびペイオフマトリックス）を作成しなさい。自分の国を選び、自分の数字を入れなさい。例題が P.D.の特徴をすべて満たしていることを確認すること。（例：両国が同じ支配的戦略を持っている、ナッシュ均衡は最悪の結果であり、社会的最適ではない、等）。なぜ、あなたの例が P.D.なのかを説明しなさい。

6) 米国と他の工業国が、米国のスマート・ホーリー関税によって始まった悲惨な貿易戦争の再発を避けようとした 2 つの方法について説明しなさい。（ヒント：私の PPT を参照のこと）

7) 2 つの課題やプロジェクトでログローリングを行う例（私の稚内・佐渡の例を参照）を自分で作りなさい。しかし、3 人の「投票者」ではなく、5 人の「投票者」にすること。（日本にしてもいいし、どこの国にしてもいい）。

8) 「オデュッセウスとセイレーンの挑戦」について簡単に説明しなさい。（この問題に限り、ウィキペディアを読んだり使ったりすることは問題ない。）次に、この神話が、リーダーが自分を強くするために、何かや自由を諦めた（犠牲にした）例である理由を説明しなさい。最後に、国際貿易協定（または国際環境協定）や米国の 1934 年の互恵的貿易法に署名することも、力を手放すことである意味で、国を強くすることができるケースであることを説明しなさい。（長さ：約半ページ）

9) 保護のコスト。私のノートにある（古いけど）データを使って、この 3 つの国（アメリカ、日本、中国）のうち、保護費が最も高い国、中間の国、低い国はどこか？私のノートにあるデータを使って、あなたの答えを裏付けなさい。回答は短くても構わないが、単なる単語や数字の羅列ではなく、きちんとした文章になっている必要がある。

10) 浦田論文の質問（私のウェブサイトに掲載されている 2025 年 9 月号の論文を参照・読了のこと）。浦田教授は「しかし、トランプ関税は、全加盟国を平等に扱う「最惠国待遇」や「約束した関税上限を超えない」とする WTO の基本原則に違反している」と記している。私のノート、PPT、テキスト（K&O、小田など）の知識を用いて、彼がここで何を意味しているのか、より詳細に自分の言葉で、整った段落（5~6 文程度）で説明しなさい。

（注）これらすべての問題（問 8 の一部を除く）については、私のノートと参考文献（Oda、Salvatore、Ishikawa ら）のみを使用しなければならない。インターネットで見つけたものに基づいて解答したり、ChatGPT やその他の AI に基づいて解答したりしないこと。私のノートと資料をすべて読んで、それに基づいて答えなさい。私のノートや参考資料に由来しない事実や主張がある場合、減点されるか、その解答に対する評価は得られない。

私のノート、PPT、資料はすべてここにある。

<http://www.parsons.ynu.ac.jp/undergradtrade2015.html>